

2022年4月1日発行  
奈良県医療福祉生活協同組合  
発行責任者 榎並憲治  
編集・発行 すこやか編集会議  
組合員数 6,139人(2/28現在)  
出資金 94,363千円(2/28現在)  
〒634-0004  
奈良県橿原市木原町 230-1

奈良県医療福祉生協は、橿原市木原町に奈良県で唯一の医療福祉生協として2012年3月に創立され、今年10周年を迎えました。これも創立に携わっていただいた皆様、関係団体、地域の皆様のおかげです。

みみなし診療所開設時は、組合員数が1913名、出資金は29、561千円が今年2月末現在で組合員数6139名、出資金は94、363千円と年々増勢しています。

医療事業は、開設当初は赤字で苦しみましたが、2016年度から黒字に転じ2021年度も黒字が見えております。現在、重松信子先生に管理所長を担っていただき、役員が一人となつて、組合員のご支援で「親切で良い医療」の実践を行っております。

今、コロナ禍で、奈良県でも橿原市でも格差と貧困、孤立が顕著に表れ「パートで働くも14年間無保険の方」「母子家庭で非常勤収

## 奈良県医療福祉生活協同組合は10周年を迎えました

奈良県で初めての「いのちの分野の生協」が誕生してから10年、奈良県医療福祉生協は多くの方々のご支援とご協力をいただきながら健康づくり運動をすすめてきました。これまで支えていただいたみなさま方に感謝を申し上げ、これからも組合員や地域の皆さまのすこやかな暮らしに寄り添う医療と活動に取り組みまいります。

## 医療福祉の事業と運動で誰一人取り残さない社会の実現をめざします

理事長 榎並憲治

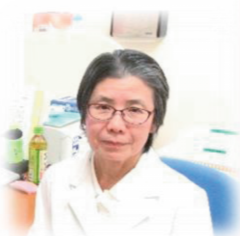
入が激変した方」「家族間の問題を抱えて苦しんでおられる方」などから困りごとの相談が相次ぎました。そのためにも国の社会保障制度の改善を求めてまいります。理事会の中に設置しました「くらしの懇談会」は社会の問題について学習を深め、橿原市生活福祉課との懇談も行いました。一人ひとりの「困った」に寄り添う活動をさらに強めてまいります。

## みみなし診療所が地域の拠りどころとなるように

みみなし診療所では、組合員と役員が、「健診を受けましょう」と呼びかけています。これは組合員と医療の専門家が健康づくり、病気の予防をともにすすめる医療福祉生協だからこの活動です。昨年「みみなし診療所懇談会」ができて、福田看護師長、理事のみなさんといっしょに組合員、患者、地域の方々のくらしや健康に役立つために何ができるかを話し合っています。

誰かが住み慣れた地域で健康に暮らし続けたいと願っています。そのためには、定期的な健診や予防接種、医療の確かな情報を得ることが大切です。「元気だけれど健診は受けておこう」「気になることがあるから医師や看護師に聞いてみたい」と思ったら、真っ先にみみなし診療所が思い浮かぶ、そんな身近な診療所でありたいと思います。

10年の節目を迎え、診療所のスタッフ一同気持ちも新たに日々の診療にあたり、これからも組合員と地域のみなさんの心とからだの拠りどころとして在り続けたいと思っています。



所長 重松信子

## 第10回通常総代会公示

第10回通常総代会を下記のとおり開催いたします。  
日時：2022年6月18日(土)  
13時30分～15時00分  
場所：コープみみなし2階研修室(橿原市新賀町478)

通常総代会に先立ち、総代会議を開催いたします。コロナウイルス感染対策を取って開催いたしますが今後の感染状況によっては運営などを変更する場合があります。総代のみなさまには別途お知らせいたしますので、ご案内が届きましたら必ずご確認くださいませようお願いいたします。

奈良県医療福祉生活協同組合  
☎0744-23-1170(月火木金10:00~15:00)

## 医療とくらしの相談窓口

健康やくらしの不安、お悩み、お困りごとのある方、どのようなご相談でもお受けします。お一人で悩まないでお気軽にご相談ください。プライバシーは厳守いたしますので安心してお電話をしてください。

☎ 0744-23-1170  
(月火金10:00~15:00)  
担当：榎並(えなみ)

## ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議、即時中止を求める抗議文を送りました

プーチン政権によるウクライナへの軍事侵攻は国際法と国連憲章に違反し、ウクライナの主権と領土、国民の命をないがしろにする許しがたい行為です。

奈良県医療福祉生協理事会では大阪のロシア総領事館、東京のロシア大使館宛に抗議文と抗議電報を送り、無法で野蛮な行為の即時中止を求めました。

## 風しん抗体検査・予防接種の実施期間延長のお知らせ

対象 昭和37年(1962年)4月2日～  
昭和54年(1979年)4月1日生まれの男性  
受診期限 令和7年(2025年)3月31日まで

風しんの公的予防接種を受けていない上記の男性は原則1回無料で抗体検査ができ、抗体検査値の低い方は無料で予防接種が受けられます。

市町村から配布されるクーポン券を持って早めに受診してください。  
みみなし診療所でも抗体検査と予防接種ができます。



## 読者のおたより

睡眠時無呼吸症候群、気になつて居る内容で、みみなし診療所でも受診できることを知りました。

健康診断の肝機能の検査項目に関する説明がとても参考になりました。

田原本町 R・Yさん  
夫婦で特定健診を受診しました。主人は血糖値がやや高めでしたがコロナ対策や健康管理に配慮して、新年を迎えたいと思います。「すこやか」これからも情報発信をよろしく願っています。

橿原市 Y・Mさん  
毎号楽しみにしています。健康に関する情報をわかりやすく、身近に感じられるようレイアウトや項目に工夫が凝らされており、とても読みやすいです。高齢者や市民の健康普及をボランティアとして活動が続けていますが、毎日のウォーキングやラダと脳を動かすことの大切さを実践しています。いつも参考にさせていただきます。ありがとうございます。

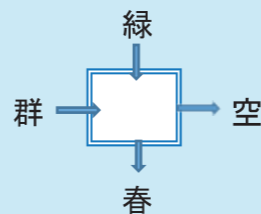
橿原市 A・Nさん  
毎号楽しみに読んでいます。健康に関していろいろ情報を得ています。今年も娘が1月に乳腺エコー検査をしてもらいました。ここ何年か年1回検査をしてもらっています。手軽で助かっています。

桜井市 K・Kさん  
教え合い教室作品展の作品を見て、仕事が好きなのでサークルに入りたいなと思って思いました。

橿原市 T・Dさん

## 漢字 de クイズ

上下左右の漢字1字と口の漢字で二字熟語ができます。口に入る漢字は何でしょう?



📌 前回の答えは「灯」でした

- 正解者の中から5名様に図書カード(500円)をプレゼントします。
- 「答え・すこやかの感想・住所・氏名・電話」を書いて、はがき・メール・下記の二次元コードでご応募ください。📌 締め切り 5月末日
- 【送付先】〒634-0004 奈良県橿原市木原町 230-1 奈良県医療福祉生活協同組合「すこやか」係
- 【メール応募アドレス】 hewcoop\_nara@yahoo.co.jp
- 個人情報は商品発送のみに使用します。
- 読者のおたよりコーナーに掲載させていただく場合があります。
- ☆すこやか41号クイズ当選者☆  
國井益子さん(奈良市) 佐々木利矢子さん(天理市) 中田政子さん(橿原市) 松尾成子さん(田原本町) 宮永朋子さん(河合町)



## 創立10周年 座談会

つながり、支えあって10年  
すこやかな未来をめざして

**司会**：本日は奈良県医療福祉生活協同組合に関わりのある方々にお集りいただき、お話を聞かせていただきます。まず自己紹介からお願います。

**仲宗根**：生協役員を卒業する時期に縁があつて医療福祉生協づくりに関わって準備から数えて12年、たくさんの組合員や診療所スタッフに支えられて今日に至りました。経営的に厳しい時期を乗り越えてなんとか地域で評価される存在になって来たかなと思います。

**豊島**：仲宗根さんから「組合員活動委員会を立ち上げるから手伝って」と声をかけられました。奈良県全域をカバーする委員会活動と聞いて、医療福祉生協をどうお知らせしていこうかと悩みましたが、今ではみなさんと楽しく健康づくりの活動を続けています。

**安川**：20数年前、松山から転居して来た時、ならコープの共同購入班へのお誘いがありました。また、班長会に参加したことで、地域委員会を知り、委員会活動が始まりました。愛媛には医療生協があつたので、医療生協の活動に違和感はなかつたです。現在はかつらぎ地域委員会でも活動しています。

**辻本**：大阪に勤務して生協の活動始めることができたと思います。安川：診療所に近いなんて羨ましい。地域で活動できることはいいですね。

**仲宗根**：なぜ橿原市かと思われたかもしれないけれど、当初「医療体制がきびしい南和地域での医療を視野に」という思いがあつて、ここに決めました。幸い、この地域は生協に馴染みがあるので地域訪問でもちゃんと出てきて話を聞いてくれるからうれしいですね。

**司会**：数々の活動を重ねてきましたが、心に残る活動はその中での課題は？  
**安川**：私は「いきいき健康まつり」は良かったと思います。屋外でいろんな人に医療福祉生協、健診、出資金のことなど伝えることができました。「医療とくらしの相談窓口」では、いのちの生協を伝えることもできたと思います。

**仲宗根**：辻本さんは生協活動を知らないで入ったけどどう思いました？  
**辻本**：活動に参加して人と話をしたり人と触れ合えたことがうれしかったです。橿原北地域委員会はメンバーも10人近くいて生協活動の経験者だけでもなかったし、毎月の企画も学びがあつて楽しくてやってよかったと思えることばかりでしたね。

**仲宗根**：それが生協のいいところだね。生協は無料の大学と言われた時代があつて、生協に関わると社会への窓口があつて、人とのつながりができて知ら

は経験したことがありませんでした。退職後「仕事ロス」を感じていた時に理事さんから「出ておいで」と誘ってもらい参加したのがきっかけです。橿原北地域委員会で活動を始めたおかげで地域に目を向けられるようになったのはよかったですね。

**司会**：奈良で医療福祉生協を創設するにあたってのお話を聞かせてください。  
**仲宗根**：日本医療福祉生協連合会が設立されるにあつて「奈良に医療生協を」というお誘いが奈良県生協連合会にありました。専門性の高い分野ですが日本医療福祉生協連から支援をいただけるので創設に向けて県下の医療と保健の状況調査からスタートしました。ならコープ、コープ自然派奈良、生活クラブ生協など全て回りましたね。私は当時、奈良県生協連に在籍していたので設立に関わつたわけですが、医療は専門性が高い分野ですが、ここに市民が参加することは大切だと思つていました。素人が関わるむずかしさや戸惑いも感じながら試行錯誤の連続でしたが、ようやく基盤ができました。

全国にはさまざまな成り立ちの生協があり、私は奈良らしい医療福祉生協でいいと思つています。健康チェックでも気楽に身近に語ることで、専門性につなげることができると思つています。生協の役割は地域の人たちのくらしを

ないことを知る、それが生協の活動なのよね。私が生協活動をしていて得たものは「人財産」、たくさんの人とつながりができたことに感謝したいと思つています。

**安川**：生協の活動ではいろんな出会いやつながりができ、学習できることも多かつたので、自分のためにも一歩踏み出してほしいです。医療福祉生協の認知も、まだまだだと思つています。  
**辻本**：最近は委員会の企画でも若い人が仕事や子育てで参加できないことが多いですね。

**仲宗根**：以前、小児科があつた時は、若いお母さんの参加も多かつたけれど一昨年度の強化月間から始めた「わたしのつながりチャレンジ」はつながりづくりの良いきっかけになったわね。  
**安川**：一人暮らしの人にも出られるようにしたい。話す場を増やしてつながりを作れるようにしたいですね。

**豊島**：う、すこやかカフェを毎月開いています。何でも気軽に話せる場があちこちにできたらいいと思う。□□ミで広がっていく場にしたいですね。

**安川**：オープンな場で医療福祉生協を知らせて知名度をあげる工夫ができればいいと思うし、やってみたいと思う。  
**仲宗根**：すかね、お祭りや企画をするから手伝つてといつてお誘いすることも

支えるということだから。

**辻本**：委員になつてまもなく、医療生協かわち野に見学に行かせていただきました。大きくて立派な施設、活動の部屋、シムの機械など驚きの連続でした。  
**仲宗根**：大きい医療生協も最初は小さかつたのよ。

**安川**：みみなし診療所ができる前には、プレハブのホワイトハウスに住居地図を貼って、組合員を増やしましたね。お誘い活動では、市民生協とは違つたことや、ご自分の健康に関心を持ってもらいたいというようなこともお話ししました。平均寿命ではなく健康寿命を伸ばすことにつながると思つていました。最初の頃に使つた二股聴診器、懐かし



安川孝子さん 辻本悦子さん  
(左) 豊島すみ子理事 (右) 仲宗根迪子特別顧問  
座談会はコロナ感染対策を取っておこない、終了後集まって一瞬だけマスクを外して撮影しました。

できるね。機関紙の手配りボランティアは配っている地域で組合員とつながっているなと感じます。何かあつた時、役に立つ活動だと思つています。

**豊島**：直接お話しできなくても機関紙をポストに入れることでもつながっていたいですね。

**辻本**：私も同じ住宅のご近所さんが組合員だとわかり、先日の複並理事長の学習会のチラシを渡したらご主人が参加してくれました。手配りのおかげで新たなつながりができました。

**仲宗根**：それはよかつた。自転車で回る範囲のネットワークがよいですね。

**豊島**：総代懇談会で「今は健診を受けているだけが車に乗れなくなつたらお世話になります」という総代さんがいきました。やはり診療所周辺は大事ですね。健診だけの組合員にも個別のアプローチ出来たらいいですね。

**司会**：最後に、私たちが次のステージに歩みをすすめていくために未来に向けて一言ずつお願いします。

**安川**：10年といつてもまだ10年。伸びしろはまだいっぱいあると思います。人とのつながりを大切にして世代を問わず気軽に参加できる場を増やしたい。また、初心を忘れず、初めての人にもわかるよう丁寧に医療福祉生協のことを伝えていきたいと思つています。

**辻本**：委員会活動でもすこやかカフェ

いので、また使つてみたいですね。  
**仲宗根**：たしかに：地域の医療環境が整つていなかった時代、医療福祉生協があつたかどうかで住民の健康意識が違つていたかもしれない。一度調べてみたいですね。

**司会**：医療福祉生協の組合員活動に関わり始めていかがでしたか？

**豊島**：健康チェックで理事のみなさんが丁寧に説明しているのを「すこいなあ」といつも感心して見ていました。  
**仲宗根**：場数を踏むのよ。今ではあなたたちだつてやつてるじゃない。

**豊島**：最初は下キドキでしたが、今はお話するのが楽しくなりましたね。

**安川**：私は二股聴診器を使うのは苦手でしたが、「一緒に聴いてみませんか」は言えました。指導できる立場ではなかつたですが、お喋りを通して食生活など気づきにはつながつたと思います。  
**辻本**：委員会ではコープみみなしの店内で健康チェックやつていましたけど、なかなか慣れなくて、最初は呼び込み担当ばかり。でも毎月行つていふうちに少しはできるようになつたかなあ。  
**仲宗根**：健康チェックはおしゃべりが期待されていると感じるわね。難しいことはお医者さんに相談してつて答えればいいよ。

**辻本**：私はこのみみなし診療所が近くにあつて自転車で来れるから、活動を

でもそうですが、気を張らず気軽に参加して、自分の好きなことを話せる場、わいわいがやがやできる楽しい場を作る活動ができればいいと思つています。

**豊島**：いろいろな経験を経てできてきたこともたくさんある。これからの10年もコツコツと人とのつながりを作つてできることをやっていけたらと思つています。そうやって続けていくことで将来、往診も看取りもできる病院ができたら、安心して地域で住み続けることができると思つています。

**仲宗根**：地域医療に患者・市民がもっと関わるべきだと思つ。「医療福祉生協」ののちの章典」を読み返すと、まだまだ受け身で距離を感じます。私たちにできることはまず健診受診率を上げること。上がることで早期発見にもつながるし地域に貢献もできます。医師や看護師からアドバイスをもらうことで本人が主体的に健康や病気に向かう。そんな医療活動ができるのは医療福祉生協しかないと思う。その究極が看取り。本人と家族、介護者・医療者が関わり合うことをめざしたいですね。

**司会**：みなさんのお話からできることがまだいっぱいあると思つきました。これからもう一緒に、さらに多くの人とつながつて未来に向かって前進していきたいと思つています。ありがとうございました。

